

1 教育問題

(1) 小中学生のネット・スマホ・携帯電話依存対策について

市内小中学生のネット・スマホ・携帯電話の依存状況をどう把握しているか伺います。

課題と対策を伺います。

小中学校での児童、生徒、保護者へのネット教育はどのくらい行われているか伺います。

健全育成会、地区社協等地域でのネット教育の状況を伺います。

ネット依存について保護者が相談できる体制づくりが必要と考えるが、見解を伺います。

(2) 学校給食は、現在は牛乳が出されているが、お茶を飲んでもらう工夫はできないのか見解を伺います。

お茶は和食に合うこと、健康的であること、磐田茶、静岡茶の振興になること等、利点が多いと考えます。

(3) 磐田市の学校給食の1週間の主食割合は、米飯3回、パン1.5回、麺0.5回と伺っています。米飯をもう少し増やすことはできないのか伺います。また、米飯が増やせない場合、米粉を入れたパンや麺を使用できないか見解を伺います。米の消費拡大は地産地消に繋がると考えます。

(4) 合併前、5市町村にあった郷土資料館、民俗資料館は、現在、竜洋地区と豊岡地区のみ存在しており展示が行われています。他地区は資料が保管されていますが、資料館はなく展示はされていません。

今後、郷土資料館、民俗資料館をどのようにしていくのか方向性を伺います。また、資料館の価値や教育的効果をどうみているのか見解を伺います。

(5) 図書館について

近年の図書館の市民の利用状況を伺います。

インターネットで情報が得られ、電子図書が普及しはじめるなか、図書館が変化し対応していくことが必要と考えるが見解を伺います。

図書館の開館時間延長の声はあるのか。仕事帰りに図書館を利用したい、学生がもう少し勉強していたい等の声があるのでは。開館時間は、中央図書館は午後7時まで、他の4地区の図書館は午後6時までです。開館時間を1時間くらい延長できないか伺います。

より利用される図書館づくりのため、市民にアンケートを取っているのか伺います。取っているのであれば、アンケートの内容を伺います。

2 防災・安全対策

(1) 自然災害発生時の避難勧告

9年ぶりに避難勧告などが見直され、新しいガイドラインが発表された。水害、土砂災害、津波災害、高潮災害について、避難指示などの内容、変更点、市の対応について伺います。

国からの支援が薄くなると聞くが、内容と市の対応について伺います。

(2) 磐田原台地等斜面の山道において、土砂崩れ、倒木が時々発生します。

最近は、台風、大雨時以外でも平時に発生しています。山道脇の地権者の管理には限界があり行政の力を必要としています。

行政としてどのような対策をしているのか伺います。

山道での土砂崩れ、倒木があった場合の地権者の管理責任について見解を伺います。

- (3) 防災に関する専門的知識を持ち、防災現場のリーダーとして活躍できる「静岡県防災士」養成の制度があります。自主防災会のリーダーとして、また、防災の協力者として活躍できると考えます。

市内の防災士取得者数の状況を伺います。

防災士を増やしていくことが必要と考えるが見解を伺います。

防災士取得を促すための支援を検討する考えはないか伺います。

- (4) 住宅用火災警報器の設置について

火災による焼死者が時々発生します。火災警報器が設置されていれば、命が助かるケースが多いと考えます。

市内の住宅用火災警報器の設置状況を伺います。

国、他市町との比較を伺います。

設置の効果をどのようにみているのか伺います。また、設置してあったが作動しなかった場合もあったのか伺います。

今後の設置推進の方針を伺います。

高齢者、障がい者宅には、設置の取り付けの補助、手伝いも必要と考えるが見解を伺います。

- (5) A E D（自動体外式除細動器）について

市内のA E Dの設置数を伺います。

現在の設置数は、適正なのか、まだ不足しているのか伺います。

A E D操作講習会は年間どれくらい開催されているのか、またどのような人を対象としているのか伺います。

A E Dの効果をどう評価しているのか。実際に救命につながったケースがあるのか伺います。

講習を受けた人でも実際に事故が起きた場合、使用をためらうと考えます。この対策について伺います。

保守点検の指導について伺います。